



租稅強徵法

第二号



414
A 1983
2



大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

八百六十六年九月二十日及十二月二十四日ノ制法ニ
由リ新タニ君主專治ノ普魯士國ト連合セル各國ノ行政廳ニ
於テ直税間税其他ノ公金公収等ヲ強徴スルカ為メニ確定頒
行セリ所ノ一千八百六十七年九月二十日ノ布告(一千八百六
十七年ノ法律纂集千五百五十三葉第六千八百四十一号)
朕ウチルヘルム我カ政府ノ上申ニ原キ一千八百六十六年九月
二十日及十二月二十四日ノ制法ニ由リ新タニ君主專治ノ普
魯士國ト連合セル各國ノ行政廳ニ於テ直税間税其他ノ公金公費
等ヲ徴収スルノ法ヲ勉メテ均一簡便ナラシメンガ為メニ更ニ
之ヲ改正シ以テ今ニ布告ス即チ左ノ如シ

第一条 (一般ノ原則)

左ニ掲クル所ノ諸税ハ此布告ノ條規ニ基キ行政廳ニ於テ之ヲ

徴収スヘシ

第一項 政府ニ拂フヘキ諸税及ヒ公金時ニ之ニ属スルモノ
ハ則チ

イ 第一直税

地租、家税、財産税、分等収額税、及ヒ營業税、及ヒ政府、郡
區若クハ其他公事ノ供用ニ充ツヘキ為メ賦課スル
直税ノ附帯税

ロ 第二間税

道路税、橋梁税、運送税、車税、笨重機器税、堀割税、水門税、
廻船税、港税、物置場税、傳染病避院手数料及ヒ償税料

ハ 第三郵送税及ヒ郵送手数料

ニ 第四汽船税

ホ 第五墾業税

第二項 政府ノ管理ニ属スル場局ニ納ムヘキ諸税

第三項 評議會社及ヒ私立會計局ニ納ムヘキ公金或ハ公局
ヲ保持スル為メ若クハ公局ノ属吏ニ納ムヘキ公金或ハ公
局若クハ其結構ノ需用ニ充ツヘキ公金

第四項 公立ノ火災保險會社ニ納ムヘキ保險料

第五項 行政廳又ハ裁判廳ニ納ムヘキ諸種ノ定例手数料入
費罰金及ヒ償金

第六項 國主ノ所有地稅、森林稅、及ヒハンノ、トフェル、國內ニ
於ル教徒ノ所有地ニ属セル管理稅

但シ本稅ハ各州警察廳及ヒ大藏省ノ規則改正ニ保レル
一千八百八十年十二月二十六日ノ布告第四十二條ノ定規
一千八百八十七年ノ法律纂集第二百八十二條及ヒ其補正規
則ニ從ヒ裁判工ノ訴訟ニ涉ル丁無クシテ只徴収令ニ基

キ之ヲ徴収スルノ際ニ限ルヘシトス

第七項 義務者ニ對スル請求ノ功驗ナカリシ後官ノ命令ニ由リ他人ヲシテ義務者ニ代リ其義務ノ辨償若クハ交付ヲ了ヘシメタル金額第二條

第二條

政府其他ノ公利公害ニ関スル義務ノ決行ニ就テ若シ義務者ノ緩慢ニ因リ強徴ヲ行フヘキ場合ニ至リシハ行政廳ハ第一義務者本人ニ其義務ヲ決行セシムルノ權ヲ有シ第二他人ヲシテ義務ヲ代行セシム得ベキ場合ニ在テハ其義務者ニ代リ之ニ其義務ヲ決行セシメ若シ又物品ヲ他ニ交付スヘキノ義務アルニ際シ其物品義務者ノ所有品ニ係ラサルハ義務者ニ代テ其品ヲ買収シ以テ之ノ償ハシムルノ權ヲ有スルナリ但此第二ノ權ハ他人ヲシテ義務ヲ代行セシムルヲ要スル各個ノ場合ニ於

テ總テ之ヲ施行スヘシ

然レモ斯ル義務者ニハ先ツ命令書ヲ付シ躬カラ其義務ヲ決行スヘキヲ督促スヘシ而シテ若シ緩慢ニ過クルノ恐ナキ時ニ限リサクレハ日ノ期限ヲ以テ之カ督促ヲ為スヘキナリ
行政廳ニ於テハ義務者ノ躬カラ義務ヲ決行スヘキヲ督促スヘクシテ其之ヲ決行スルト否トハ義務者ノ隨意ニ任スヘシトモ
茲モ本轄署ノ所見ニ從テ或ハ其爭ノ不当ナリト認了シタルハ
ハ一百「タ」レルヨリ多カラサル罰金第一條第五項若クハ四週日ヨリ多カラサル禁錮ニ処ス可シトス
他人ヲシテ義務ヲ代行セシムヘキハ行政廳ニ於テ之カ為メニ要スル所ノ入費ヲ預定シ之ヲ義務者ヨリ納メシムルニ但シ
實際上ノ費用預定ノ金額ヲ超過シタルハ後日ニ至リ復タ更ニ之ヲ追徴スヘキナリ

第三条

強徴処分ハ其委任ヲ受ケタル官署若クハ官吏ヨリ之ヲ命スヘク而シテ其処分ノ決行ハ其指揮ニ由リ之ニ補属タルノ強徴者若クハ其附属スヘキ官吏ヨリ之ヲ為スヘシ然レハ其官署ニ於テ確定ノ強徴吏ヲ命セザリシ時或ハ徴収ヲ命スル本署ヨリシテ直チニ強徴ヲ命スルノ際ニハ本署ニ於テ強徴処分ヲ委任スヘキ官署若クハ之ヲ決行スヘキ官吏ヲ定ムヘシトス又行政廳ノ強徴処分ヲ決行スル權利ヲ有セサル者ハ裁判上ニ就テ強徴ヲ決行メンカ為メ之カ裁判ヲ求ムルノ権アルヘク且ツ其請求ノ正非ニ関シテ検査ヲ受クルトナリ唯其申告ノ旨意ニ基キ裁決ヲ取ルハ権アルベシ

第四条

己ニ督促ヲ受ケタル租税上納ノ義務及ヒ己ニ決行セラレシ強

徴処分令ノ權利ニ関セル控訴

裁判所ニ申告スヘキモノ

ハ單リ一千八百六

十七年九月十六日ノ公布ニ係レル特別ノ控訴法則ニ從ヒ以テ之ヲ為スヲ得ヘシ之ニ反シ強徴処分ノ過失ニ関スル不服ノ訴ハ其争訟スヘキ処分ヲ決行セシ官吏ノ本官署ニ之ヲ呈告スヘシ但シ此不服ノ訴ハ命令及ヒ決行ノ方式差ニ収当セラレタル物品ノ質物ト為ルヘキヤ否ノ問ニ干与スルヲ得ヘキモノトス

第五条

強徴者ハ毎ニ必ス其職務ニ就テ收受セシ辞令唇ヲ帶有スヘシ而シテ又義務者ノ求ニ應レシ之ヲ明示スルヲ要ス強徴者ノ公務上ニ関スル心置及ヒ申告ハ其委任マラシメ租税徴収件ニ限り持ニ充分ノ孚信ヲ有スヘシ但シ反對ノ明証アルモノハ此例ニ在ラス強徴者ハ誓然ニ由テ之ヲ委任スヘシ

第六條

強徴処分ハ法律上ニ確定シ若クハ特ニ義務者ニ告示スル所ノ
拂期限ヲ經過マシ後ハ直ニ之ニ著手スルヲ得ヘレ

第七條

強徴ヲ命マシ後官署及々各官吏ノ休務日ニ当レハ敢テ其処分
ニ著手スヘカラス又猶太宗人ニ對シテハ其休日及々祭日ニ方
テ之ヲ行フヘカラス

蒔種及々收穫ノ時ニ際リ農業人ニ對シテ強徴ノ処分ニ著手シ
施行シ決行シ得ヘキモノハ唯延滞ノ恐アル時ノミニ限ルヘシ
又其延滞ノ恐アルト否トニ就テハ強徴ヲ命スル官署ニ對シテ之
ヲ認断スヘク若シ此認断ニ関シ或ハ不服ノ訴（強徴ヲ命マシ本
管署ニ出スヘキ
トモ）ヲ為スルアルモ為メニ強徴ヲ停止セサル者トス又地方ニ因
テ蒔種或ハ收穫ノ要候ト見做スヘキ際強徴ヲ免除スヘキモノ

ハ蒔種ノ候ニ在テ春秋各十四日收穫ノ節ニ在テ春秋各四週間
タルヘキナリ

第八條

現役ノ軍人及々退隠料ヲ受ケタル士官ニ對シ強徴ヲ決行スル
ニ際テハ兵營中或ハ同主者ヲ以テ設定セシ他ノ服役場中ニ施
行スヘキ本管軍務廳ノ告達及々裁判上強徴ノ決行ニ関シ一千
八百六十七年四月一日ノ勅令ニ由リ新クニ連合セシ各國ニ頒
行シタル一般ノ條則ヲ注視スヘシ

第九條 督促及々強徴ノ告示

強徴処分ヲ決行スルノ前ニ際リ第二條ニ記セシ官署ニ於テ作
ルヘキ督促状ヲ以テ各處及々著手ニ督促スヘシ但シ此場合ニ在テ
ハ其状中ニ特記シタル滞金ヲ八日以内ニ納ムヘキ旨ヲ以テスヘ
シ若シ此ノ命ニ托スルハ収当又ハ其他ノ強徴法ヲ施行スヘ

シ
財産税、分等収額税ノ徴収ニ関スル一千八百五十一年五月一日
ノ制法第十三条中「ベ」ナ「ノ」條則法律纂集第百九十三葉ハ仍
オ之ヲ変更セス

第十条

強徴ヲ任セシ官吏(強徴者)ニハ督促ノ指令文ヲ載セ以テ督促ス
ヘキ義務者及ヒ其滞金ヲ明記シタル其本属署ノ作リシ目錄(滞
税目錄)ノ外又別ニ督促状ヲ授付スヘク又強徴者ハ其督促状ヲ
領スルノ後之ヲ義務者本人或ハ家族中ノ成丁者若クハ同居人
ニ手与スヘシ而レテ其手与セシ人名若シ其当日ヲ督促状及ヒ
滞税目錄中ニ記入以テ成否ノ如何ヲ証明スヘク若シ或ハ其
收受ヲ拒ミ或ハ此ガノ人ノ不在ナルニ因リ之ヲ手与スルコトヲ
得サルハ必ス其督促状ヲ義務者ノ外戸若クハ内戸ニ貼付シ

置クヘシ此場合ニ在テハ八日ノ期限ヲ起算スルニ其貼附ノ日
ヨリスルヲ常トス

第十一条

強徴及ヒ強徴法ノ種類

八日ノ期限ヲ経過セシ後ハ租税及ヒ督促手数料ノ滞金ノ額ヲ
律上強徴法ヲ施行スヘシ其法ハ則チ左ノ各種ナリトス

イ 収当

口 有莖ノ穀物及ニ鑛坑ヨリ鑿出シタル産物或ハ製造場ニ
於テ製シタル製造品ノ差押

ハ 請求権ノ差押

ニ 一千八百二十五年二月三十一日ノ勅令第十二条「ベ」号中
ノ定規(千八百二十六年ノ法律纂集第五葉)ニ於テ財産ノ
差押及ヒ債権

ホ 競賣

義務者ノ有スル土地鑛坑製造場ノ差押及ヒ質貸差ニ競賣ハ他
ニ絶テ上納ヲ為サレムヘキ方法ノアラサル際ニ限り之ヲ行フ
トヲ得ベレ其他ノ強徴法ヲ施行スルニハ敢テ順序ニ注目スル
ヲ要マスト然レ一般ニ先ツ質物ヲ繳収スルヲ常トス又己ムヲ
得サルノ場合ニ在テハ有茎ノ穀物ヲ差押エルトアルヘシ但レ
候國シユレスウエークリ及ヒホルスタインニ在テハ財産ノ差押
ヲ行フヘカラス

第十二条 収当

収当ハ強徴処分ヲ為スノ官署ニ於テ作リレ収当命令各ニ基キ
持ラ之ヲ行フトヲ得ヘシ又強徴者ハ此命令各ニ由リ義務者ノ
所有中ニ在テ質物ト為ルヘキ動産ヲ差押エルノ権アルヘ
シ

第十三条

左ニ掲クル諸物件ハ之ヲ収当物ニ算入スヘカラス

- イ 義務者及ヒ其婦差ニ其側ニ生活スル子女兩親ノ身位ニ
應レ缺クヘカラサル寢具衣類肌衣又僕婢ノ寢具其他營
生ノ為メ缺クヘカラサル家什及ヒ厨具
- ロ 乳牛一頭又乳牛ノアラサル片ハ山羊二頭其他放飼スヘ
キ獸類ノ給養或ハ下辱ニ供用スヘキ一個月分ノ食物及
ヒ藁
- ハ 義務者及ヒ其家族ニ於ル一個月分ノ需要タルヘキ麦粃
穀物穀粉及ヒ其他缺クヘカラサルノ食用品
- ニ 暖爐及ヒ炊爐
- ホ 技手職工及ヒ日傭夫ニ在テハ其技術及ヒ營業ニ欠リ
ヘカラサル器具並ニ其他千八百二十年五月三十日ノ營
業稅則中第三十五条法律募集第四十七條ノ定款ニ関ス

ル物件

一 神事ヲ行フノ際又ハ学校内ニ在テ義務者若クハ其親族ノ供用ニ充テタル書籍

ト 義務者ノ營業上ニ関スル書籍若シテ文学或ハ技術ノ教授或ハ演習ニ係レル書籍機関及ヒ器具但シテ代價八十「タ」レ以下ノ者ニ限レリトス而テ之ヲ差押ユルト否トハ収当セラル、者ノ選ニ從フヘキナリ

チ 農業又ハ葡萄ノ培養ヲ職トスル人ニ在テハ之カ為メニ缺クヘカラサル器具、牧場田畝ニ属スル動産、須要ノ肥料及ニ次期ノ収獲ニ至ルマテ必需タルヘキノ麦、起、種子及ヒ食用ノ穀物

リ 文武ノ官吏ニ在テハ其職務上ニ須要ナル書籍若シテ欠クヘカラサル家什寝具及ヒ其身分ニ相應スヘキ衣類肌衣

但シ退隠料ヲ受ケレ文官吏モ亦之ト同シ

ス 現役ノ士官、下士官、兵卒及ヒ其他兵卒ト同級ノ服役人ニ在テハ其當所ニ存スルノ動産又非職給ヲ受ケレ免役ノ士官若クハ恩級ヲ受ケレ待命士官ニ在テハ其住家ニ在ルノ動産但シ此等ノ人ノ所有スル紙幣、現金、記念貨幣、宝石及ヒ小飾物ノ如キハ収当物ニ算入スヘシトス

第十四条

義務者ハ止タ左ノ場合ニ限リ収当ヲ拒ムヲ得ヘシ

イ 驛遞為換証券ノ受取証又ハ其証券ノ現示ニ依リ徴収金、皆納ラ証シタル時

ロ 本属署ノ定期許可ヲ明証セシ時

ハ 徴収金及ヒ強徴手数料ヲ令正ニ上納セントスルノ情况アル時

或ハ抵当ノ誤カ
將タ然ラサルカ

未項ハノ場合ニ義務者令直チニ其負債ノ一部ヲ上納メント
スルノ場合ニ際シテハ強徴者ノ目前ニ於テ徴収金ヲ封包シ其
之ヲ上納スヘキ官吏ニ宛テ、郵送スヘシ或ハ送致ヲアサンカ
為メ之ヲ町村長ニ寄托スヘシ
上納金ハ決テ之ヲ強徴者ニ交付スヘカラズ強徴手数料モ亦猶
然リ而シテ若シ其強徴者ニ交付セシ金貨本管署ニ達セサル
アランニハ負債者ハ復ヒ之ヲ上納マスンハアラス

第十五条

質物ノ繳収ハ強徴者ノ意見ニ由リ質物トナルハ現品ニ就テ
其徴収金及ヒ強徴手数料ヲ全償スルニ足ルヘキ実額ヲ差押
以テ之カ保険ニ充ツヘリ且ツ其中取モ運送ニ易ク賣却ニ便ナ
ル物件ヲ撰フヘシ又収当ノ命ヲ達セシ後義務者ハ直チニ其動
産及ヒ所有物ヲ差出し其未ニ住所及ヒ其他ノ場所先ニ此ニ存

在スル物置場ヲ明示スヘシ
若シ他ニ充分ノ収当物アラサルハ義務者ノ居所若クハ其保
蓄中ニ在テ他人ノ名義ニ属スル物件ト強ヒ之ヲ差押ユルヲ得
ヘリ而シテ其名義所有主ニハ収当ヲ命マシ本管署ニ請求ノ旨
告ヲ為サシムヘシ

第十六条

已ニ他債主ノ強要マシ収当物ハ別ニ充分ノ収当物ヲ存マサル
時ニ限リニ重差押ヲ為シ以テ之ヲ繳収スヘシ此際強徴者ハ其
官印ヲ前印他債主ノ押捺マシノ上ニ加押シ其本轄署ニ於テモ亦収当ト
為シタルヲ義務者或ハ管財人ニ告知スヘシ
当初収当ヲ命マシ官署若クハ裁判上ノ強徴ニ依リ当初収当ヲ
為セシ官吏ニ重差押ヲ為シタル旨ヲ通知スヘシ又此官署若
クハ官吏タル者ハ可力及速ニ其収当物ヲ賣却シ且ツ重差押

ヲ為セシ官署ニ賣却期限ヲ報告シ加之賣却金ヲ以テ兩請求者
即チ前次ニ収当セシ者及ヒ後次ニ二重差押ヲ為セシ者ノ請求
ヲ満足セシムヘキ乎否ノ目算ヲ立ツヘキ義務アリトシ
賣却金ヲ以テ強徴ヲ為ス所ハ總債主ニ全ク負責ヲ償却シ得ヘ
ク或ハ其金ニ藉テ總債主ノ和議成リシ時ハ之カ押渡ヲナスヘ
シ若シ之ニ反スル際ニ在テハ分配又ハ其他ノ処分ヲ完ウセシ
カ為メ賣却金ヲ所轄裁判所ニ寄托スヘキナリ
是ニ於テ裁判所ハ又訴訟法ニ從ヒ以テ其裁判ヲ為スヘシ
行政廳ノ命ニ由テ強徴ヲ決行シタルク為メ義務者ノ物件已ニ
収当物トセラレシ時ハ持リ裁判所ノ強徴決行ニ由テ二重差押
ヲ為シ之ヲ前収当ニ加入スルヲ得ヘシト茲ニ其強徴決行ニ就
テハ亦前記ノ規則ヲ施行セサルヘカラス収当セシ物件ヲ公賣
ニ附セサルハ二重差押ヲ為セシ官署又ハ債主ノ承諾ヲ得テ

而右其物件ヲ放解スルヲ得ヘシ

第十七條

収当ヲ行フノ際町村長或ハ一名若クハ数名ノ匡吏或ハ警察吏
或ハ二名ノ純良者ヲシテ此ニ臨會セシムルヲ要スルモノハ山
夕左ノ場合ニ限ルヘシ

イ 収当ヲ行フノ際義務者ノ不在ナル時

ロ 住所カノ空シキカ為メ強徴者ノ命令其功ナク或ハ抗拒

ノ所為アリシ時

已ヲ得ナルノ場合ニ於テハ威力ヲ須ヒ前記ノ人ノ目前ニテ債
物ヲ繳収スルヲ得ヘシ
若シ威力ヲ須フルモ尚ホ義務者ノ抗拒ヲ防遏シ難キハ強徴
者ハ申告書ヲ作り其委任ヲ受ケタル本署ニ之ヲ具狀スヘシ然
リト茲ニ該署ハ又強徴者ヲ補クルノ必要ナルヤ否ニ注目シ此

ニ関スル法律ニ準ヒ以テ之カ詮議ヲ為スヘキナリ

第十八条

出納局ノ設アラサル地方ニ在テハ強徴者ハ義務者若クハ収当ノ際ニ臨會セシ人ノ目前ニ於テ収当金若クハ収当公債証唇ヲ封色シ然ル後出納官吏ニ宛テ之ヲ郵送シ或ハ其収当物ヲ領受シ若クハ郵送スヘキノ義務アル町村長ニ之レヲ委託スヘシ
其他ノ物件ハ宜ク注意保存スヘキノ約束ヲ為シ且ツ収当物耗失ノ利ヲ明示シ以テ競賣ノ日ニ至ルマテ之レヲ義務者ニ偶儲スヘシ
義務者ニ信用ヲ置ク能ハサル時ニ在テハ還償カラ具フル同区人若クハ町村長ニ収当物ヲ寄托スヘシ
凡ソ消費スルニ非スニハ供用スヘカラサルノ物品ヲ収当セシ

後之ヲ義務者ノ住所中ニ寄托スルノ際其状ニ隨ヒ消費スヘキノ恐アルニ於テハ之ヲ密封シ又之ニ捺印シ以テ義務者カ之ヲ他ノ供用ニ充ツルヲ防クヘシ若シ義務者故意ニ因テ収当ノ動産ヲ無功物ト為シタルハ刑法第二百七十二條ノ定規ニ照シ之ヲ処分スヘシトス

第十九条

強徴者ハ各場各所ニ於テ毎ニ収当經由ニ関スルノ所置ヲ駐記スヘク而シテ躬カラ之ニ姓名ヲ手署スルハ勿論義務者或ハ其代理人及ヒ収当ノ際ニ臨會セシ人ヲシテ各自ニ姓名ヲ手署セシメ且ツ審ニ其真偽ヲ監視スヘシ
強徴者ハ此際ニ方リ義務者ニ告ルニ若シ滞税ヲ上納セサレハ一般ニ該者ノ特定スヘキ質物公賣ノ日ヲ定ムルニ至ルヘシトノ旨ヲ以テシ復々其上納ヲ督促スヘシ

強徴者ハ義務者ニ質物保管人ノ望ニ任セ収当駐記ノ寫ヲ付
与スヘクシテ其現況ノ如何ヲ駐記本卷ニ記入スヘシ
義務者一モ収当物ヲ有セサル時ト雖モ其処置ノ如キハ必ス之
ヲ駐記スルヲ要ス

第二十条 (収当物ノ公賣)

収当本日ヨリ起算スヘキ十四日ノ定期ヲ經過スルノ後ニ至リ
其期內ニ於テ義務者肯テ約金セズ他人モ亦絶テ其所有權ノ申
告及モ証明ヲ為ササルハ収当ヲ命セシ官吏ヨリ収当駐記ニ
確定セシ期限ノ命令書ヲ以テ質物ノ公賣ヲ命スルハ又収当物
ノ腐敗品ニ屬スル時或ハ義務者ノ信スヘカラサルカ為メ其居
所ニ之ヲ偶儲スヘカラサルモ之ヲ他方ニ轉移セハ非常ノ費用
ヲ要スヘキ時ニ在テハ必スレモ義務者ノ承諾ヲ須タスレテ定
期中(十四日ノ定期内)ニ公賣期限ヲ命スルヲ得ヘシ但シ此場合ニ於テ

モ其公賣期限ハ之ヲ八日以内ニ定ムヘカラス又豫メ之ヲ義務
者ニ告知セサルヘカラス

第二十一条

収当物ニ就テ請求權ヲ有スル人ハ公賣ヲ決行スルニ至ルマテ
ノ際ニ収当ヲ命セシ官署ニ之ヲ申告シ且ツ之ハ証明ヲ為ス
ヘシ

其請求權ヲ有スル人其權ノ原由ニ関シ欠クヘカラサルノ事跡
ヲ舉ケ之ヲ誓約ノ代ト為シ以テ保証セシモハ証明ヲ立テシ者
ト同視スヘシ

若シ請求權ニ就テ証明ヲ立テサルハ公賣ヲ停止セサルヘシ
ト雖モ現ニ其証明ヲ立テシハ其情況ヲ覈査シタル後其物品
ヲ交付スル乎或ハ名義所有主ニ命令各ヲ授ケ以テ控訴ヲ為サ
シムヘシ

第二十二條

義務者ニ関スル他債主(収当ヲ為コ
ハル債主)ヨリ収当ヲ為セシ官立出納
局ニ對シテ先取權ヲ主張スルコトアルモ之カ為メニ質物ノ公賣
ヲ停止スヘカラス尚ホ其先取權ハ之ヲ賣却金上ニ及ホスヲ許
セラル者タルヲ以テナリ之レト同クシテ他ノ債主カ其強要セシ
収当物ヲ裁判所ニ申告シ以テ公賣ヲ行フノ際ニ在テモ亦官立
出納局ハ其所属裁判所ニ申告シ滞税及ヒ公金ニ関スル所ノ先
取權ヲ其賣却金上ニ及ホサスンハアラス

第二十三條

凡ソ公賣ハ質物ヲ繳収セシ地方ノ市場若クハ其他ノ各衢ニ定
置セル競賣場ニ於テ強徵者ノ行フヘキモノトス而シテ強徵ヲ
指令セシ官吏ハ公賣先ニ収当ノ際毎ニ強徵者ヲ監視シ且ツ指
揮スルコトヲ得ヘキカ故ニ公賣ヲ行フニ當テモ亦此ニ臨ミ或ハ

之カ為メニ他ノ官吏ヲ強徵者ニ附スルヲ得可シ

地方警察署ニ委託シテ公賣ヲ為サシト否トハ強徵ヲ命スル
官吏ノ随意タルヘク又其収当物ヲ隣地ニ公賣スレハ必ス利益
アリテ且ツ非常ノ運賃ヲ要セサルハ之ヲ命スルコトヲ得大
シ

非常ノ失賣ヲ要スルニ非サレハ収当物ヲ他所ニ移シ以テ公賣
スルコトヲ得サルノ時ニ限リ必ス義務者ノ住居ニ於テ公賣スヘシ

第二十四條

公賣ノ期日ハ遅クモ八日以前ニ之ヲ誦告若クハ揭示ニ由テ廣
告スヘシ又其誦告ハ末期ノ日ニ方リ更ニ之ヲ再ヒスヘシ
公賣期限内ニ在テ其競賣スヘキ物件總計五「タ」レ以上ノ價
格ヲ有スルモノナルハ其競賣ヲ行フヘキ地方ノ新聞紙ヲ以
テ之ヲ公告スヘク若シ其地方ニ新聞紙アラサレハ近地ノ新聞

紙ヲ以テスヘシ然レハ強徴処分ヲ為スノ官署ニ於テ至当ト認
了スル乎或ハ義務者ヨリ定期限内ニ申告ヲ為シ以テ必需ノ費
用ヲ拂フハ此他ノ公告ヲ為スヲ得ヘシ

若シ收当駐記中ニ確定セシ期限内ニ公賣ヲ行ハザルハ他ノ
公賣期限ヲ更ニ義務者及ニ質物保管人ニ告示スヘシ

第二十五条

凡ソ公賣ヲ行フニ際テハ其公賣物ヲ毎個ニ競呼セシムヘクシ
テ三四競呼スルノ後其最モ高價ヲ付シタル人ニ之ヲ買得セシ
ム可シ而シテ其已ニ買得セシ物ハ現金ト交換スルハ若シ公賣
期限ノ末日前ニ至リ尚ホ其代價ヲ拂ハサルハ復タ之ヲ公賣
スヘシ此場合ニ在テハ前ノ買得者(代價ヲ払ハサルモノ)ハ再々之ヲ買フ
コトヲ得ヘカラス又町村長或ハ町村長ヨリ通知セシ區吏警察吏
ハ必ス其公賣場ニ臨會スヘシ

此等ノ官吏共ニ強徴ヲ命セシ官吏及ニ強徴者ハ自己又ハ他人
ニ依テ公賣品ヲ買収スルコトヲ得サルモノトス

第二十六条

公賣收額ヲ以テ徴収スヘキ負債及ニ諸費ヲ全償シ或ハ現ニ不
足ノ金額ヲ銷算シタルハ即チ公賣ヲ停止シ而シテ其未タ競
賣ニ付マサル質物ハ之ヲ義務者ニ還付スヘシ
公賣收額ヲ以テ負債ヲ全償スルニ足ラサルノ際設ニ義務者ヨ
リ更ニ公賣ニ供メンカ為メ公賣定期内ニ収当外ノ物品ヲ出シ
以テ充分ノ償還ヲ了ルルハ為メニ他ノ強徴処分ヲ決行スルコ
トヲ停止スルヲ得ヘシ
公賣期限ヲ遵行スヘキ官吏ハ公賣收額或ハ公賣期日ニ上納シ
タル滞金ノ收額ヲ領収スルノ權アリト雖モ強徴処分ニ関スル
出納局ノ其地方ニ在ラサルハ義務者又ハ公賣ノ際ニ臨會セ

レ人ノ目前ニ於テ其金ヲ封包シ之ヲ該局ノ官吏ニ宛テ、郵送スヘク或ハ他ノ送致ノ為メ之ヲ町村長ニ寄托スヘシ

第二十七條

公賣ノ經由ニ関スル処置ハ該管官吏之ヲ駐記スヘクシテ義務者ノ其場ニ在リシハ亦之ニ姓名ヲ手署セシムヘシ

第二十八條

出納官吏ハ遅クハ公賣後未タ八日ヲ超エサル内ニ在テ強徴者ニ依頼シ前條ノ処置駐記ノ写ト共ニ競賣費用ノ駐記ヲ特別ノ望ニ任セ分付スヘキ其ノ義務者ニ領収金ノ過剩ヲ返付スヘキナリ

公賣収額ノ不足ナルハ義務者ニ告クルニ滞金ノ銷算セサルカ為メ定期八日ヲ經過スルノ後再ニ収当若クハ他ノ強徴法ヲ執行スヘキ旨ヲ以テシテ更ニ強徴処分ヲ施スヘシ

第二十九條

左ニ掲クル各件ハ第二十條乃至第二十六條ノ規則外ナリトス

イ

紙幣公債証書ハ之ヲ差押ユルノ後八日以内ニ在テ他ニ所有権ノ申告ヲ為ス者アラサルハ交換ノ為メ之ヲ行政出納本部ニ送致シ或ハ未タ本部ノ設アラサル地ニ在テハ其近地ノ出納部ニ之ヲ送致スヘシ

ロ

粉末ノ穀物枯草食品及ニ其他一般ノ市場貿易品ハ前ニ記載セシ公賣及ニ地方ノ公告ヲ為スヲ要マス只義務者ノ承諾ニ由リ市場ノ最上價ヲ以テ之ヲ賣却スルヲ得ヘシ然レモ義務者ノ之ヲ辞拒スルニ際テハ次回ノ開市ニ延シテ其賣却ヲ為スヘシ

ハ

金銀什器類ハ金銀本價ヨリモ以下ニ小飾物美術品ハ枝

術鑑定人ノ鑒定價直ヨリモ以下ニ其價ヲ定ムルヲ得
ス

已ラ得ナルノ場合ニ於テハ此等ノ物品ハ之ヲ公賣ニ付
スヘキ為メ縣ノ首地或ハ他ノ首府ニ送致スヘシ

第三十条 有莖穀物ノ差押

有莖ノ穀物ハ通常ノ成熟前末ノ六週内ニ在テ他テ一モ繳収ス
ヘキ充分ノ質物ヲ存セサル時ニ限リ之ヲ差押エルヲ得ヘシ
但シ其收穫ノ三分一丈ハ之ヲ差押エルトテ得ヘカラス

義務者又ハ其關係者ニ對シテハ著意セシ差押ノ告示ヲ為レ且
其臨場スヘキヲ要スヘシ又差押ヲ為スニ方テハ強徵者ハ先
ツ収当スヘキ穀物ノ存スル田畝ヲ郡區ノ田畝監守人又ハ他ノ
監守人ニ付シテ以テ監護マレムルヲ指令シ而シテ其經由ニ関ス
ル処分ヲ駐記スルヲ常法トス但シ其駐記ハ田畝監守人若クハ

他ノ監守人若クハ義務者ノ需ニ應シ其寫ヲ交付スヘキモノト
為スナリ

其他ニ関スルモノハ皆是レ第十二条乃至第二十七条ノ定規ニ
從フヘシ

第三十一条 義務者ニ於ケル請求權ノ差押

義務者ノ借金又ハ他人ノ所有中ニ在テ該者ニ屬スル所ノ物件
ノ差押ハ強徵ヲ命スル官署ノ命令畚ヲ以テ負債金ヲ出納局ニ
納メ或ハ借用物件ヲ公賣ニ付スルカ為メ強徵者ニ交付スヘキ
ヲ他人^{義務者ヨリ金錢或ハ物件ヲ借用セル人}ニ命シ以テ之ヲ執行スヘクレテ全
ク裁判所ノ差押ト同功カラ有スルモノトス又義務者ニハ命令
畚ノ寫及ヒ命令畚交付駐記ノ寫ヲ下付シ以テ其請求權ノ差押
ヲ告示シ且ツ強徵法ヲ避クヘキ為メ領附証畚ヲ強徵者ニ交付
スヘキヲ督促スヘシ又差押命令畚ノ交付及ヒ義務者ニ該ツル

ノ告示ハ強徴者之ヲ執行シ而シテ其成否ヲ命令本局ニ記入シ
以テ之ヲ証明スヘシ若シ他人差押命令各ヲ収手セシ後其差押
金及ヒ其物品ニ就テ出納局ノ損害ト為ルヘキ非為テ行ヒシ片
ハ其人ヲ視テ負債金ノ還償及ヒ負債物件ノ交付或ハ其物件ノ
代料ヲ出納局ニ納ムヘキ義務ヲ擔ヘル者ト做スヘシ而シテ義
務者ハ當ニ差押ノ功力ニ因テ他人ノ其負債金ヲ出納局ニ拂ヒ
又ハ其物件ヲ同局ニ納メシテ逐一ニ了承スヘキノミナラス
尚ホ第十八条中ニ記載セル所ノ刑ヲ避クヘキ為メ差押ラレタ
ル金若クハ其物件ニ属スル各權利ノ轉移及ヒ其返當ト為リシ
テヲ服膺シ或ハ其他ノ命令ヲ切ニ遵守スヘキナリ

他人(即チ義務者ヨリ金若クハ物件ヲ借りシ人)其差押金ノ還償
又ハ其物件ノ交付ヲ抗拒スルニ際テハ強徴者ハ管轄本署(行政
廳、收稅總裁、各州收稅長、府知事等)ノ命ニ由リ其人ヲ被告トシテ

訴ヲ為スノ權アルヘシ此權利ハ又義務者(租稅義務者ニシテ他人ニ金
ノ有スル訴訟ノ全權ヲ代理スルモノナリトス然レモ此ノ如キ
訴訟ヲ委任セラレタル官吏ハ義務者ヲシテ其執行スヘキ裁判
ニ関カラシメンカ為メ裁判所ヨリ之ヲ召喚セシムルヲ得ヘシ

第三十二条

給料、待命給差ニ恩給ノ差押ハ其徴収ヲ為スヘキ出納局若クハ
其官署ヨリ強徴ヲ命スル官吏ノ滯金強徴状ニ由テ之ヲ執行スヘク又裁
判所ノ差押ト同功カヲ有スル強徴状ヲ以テ之ヲ義務者ニ告示スヘシ

第三十三条

負債者ニ属スル土地ノ差押及ヒ債貸差ニ公賣ハ特リ第三十一
条ニ記載セラレ官署ノ許可ヲ以テ之ヲ行フヲ得ヘシ
此場合ニ在テハ本轄裁判所ニ差押及ヒ公賣ヲ申告スヘシ
其裁判所ハ訟件ノ事實ヲ覈査スルヲナリ唯其申告ニ從ヒ之ヲ

受理スヘシト雖モ其他ノ事ハ現行ノ訴訟法ニ準テ以テ之ヲ裁判スヘキナリ

第三十四条 (他轄ノ人ニ對スル強徴)

義務者ノ本轄上納区外タル他ノ區ニ於テ決行スヘキ強徴法ハ所管ノ官署ニ依頼シ以テ之ヲ行フヘシ

第三十五条 (強徴処分ノ費用)

強徴処分ニ関スル費用ハ左ニ掲載スル所ノ定目ニ基キ關係ノ表記ニ準シテ之ヲ徴収スヘシ

イ 手数料全額ハ強徴ヲ命セラレタル各負債者ノ滞税及ヒ

滞費ノ總額ニ因リ以テ之ヲ定ムヘシ

ロ 強徴処分ニ着手スルノ後ハ仮令ヒ納金又ハ貸金ノ交付ヲ

為シ或ハ其他ノ理由ニ因リ其処分ヲ停止スト雖モ表記

中別個ノ事故アルニテ之ヲサレハ尚ホ手数料ノ金額ヲ拂フベシ

ハ 強徴者數多ク強徴処分ヲ同區内ニ於テ同時ニ執行セル

モ其手数料ハ各人別個ニ之ヲ拂ハサルヘカラス然レモ

數多ノ公告又ハ質物公賣ヲ一綜ニ為シタルハ其入費

モ亦其全金額ニ應シ之ヲ一括シテ拂フヲ得ヘシ但シ賣

却金収額ノ多寡ニ從ヒ此ニ關係セル義務者ノ中ニ就テ

之ヲ各人ニ割賦スヘキナリ

ニ 運送賃ノ割賦其他數多ク義務者カ運搬スヘキ拂金ノ割

賦ニ就テハ強徴処分ヲ行フノ官吏ニ於テ物品ノ價直及

ヒ其大小輕重並ニ其他ノ要況ヲ正實ニ点檢スヘシ

ホ 格外ナル旅費及ヒ食費ハ何かノ事情アリトモ表記上ニ

記載スヘキ手数料ノ中ニハ一切之ヲ算入スヘカラス

ヘ 第二十九条中(ハ)号ノ定規ニ從ヒ依頼セシ監定人ノ手数

料ハ本轄官署ノ計較ニ依リ其所轄地方裁判所ノ確定セ

レ慣例ノ金額ニ従ヒ之ヲ定ムヘシ

政府ハ表記ノ調査及ヒ其他ノ決定ヲ為スノ權アルヘシ

第三十六條

強徴者ノ手料及ヒ其他ノ強徴諸費ハ收当物ノ賣却金或ハ其他ノ收金ヲ以テ強徴処分ヲ行フノ官吏ヨリ之ヲ拂フヘシ
此等ノ金貨若シ不足ナルハ此中ヨリ先ツ強徴者ノ手数料ヲ拂ヒ而シテ其他ノ強徴費ハ其之ヲ拂ヒ得サル時ニ限り之カ為メニ設ケタル預備金ヲ以テ之ヲ拂フヘク或ハ強徴処分ヲ命ゼシ官署ヨリ之ヲ拂フヘシ

第三十七條

旧侯國ヘツマシムハムブルグノ所屬ニ係レルマイゼンハイム府ニ在テハ一千八百四十三年十一月二十四日ラインプロフエシツノ為メニ頒行シ直税間税差ニ其他ノ公金公収公費ハノ

強徴ニ関スル注解補遺及ヒ行政規則ヲ具フルノ布告ヲ施行スヘシ

第三十八條

新タニ連合マシ各國中ニ行ハレテ現今頒行セル布告ノ定規ト抵触シ或ハ之ト併行スヘカラサル諸規則ハ總テ法カヲ存マサルモノトス

第三十九條

現今ノ布告ヲ頒行スル為メニ要スル命令ハ此ニ干預セル參議ノ連署ヲ以テ之ヲ下スヘキナリ
此布告ハ之ヲ包有セル法律纂集ノ一篇ヲ柏林府ニ版行スルノ日ヨリシテ其法カヲ有スヘキ者トス
乃チ爰ニ我カ至尊ナル手署及ヒ王笏ヲ鈐シ以テ証セリ
右一千八百六十七年九月二十二日バーデン州ノバーデンニ於

テ布告ス

ウナルヘルム

グラーフ、フォン、ビスマルク、レヨインハウゼン

フライヘル、フォン、テハイド

フォン、ロラン

グラーフ、フォン、イチエンブリック

ブオン、ミエーレル

リツベ侯

フォン、マルコーウ

ライレンブルク侯

強徴手数料表記

(甲) 強徴者手数料ノ事

(第一) 督促手数料

(第二) 収当及収当物保険差ニ二重差押ニ関ス手数料

第十四条ニ記載セル場合ニ於テ一ツモ収当ヲ為サルハ但テ手数料半額ヲ払フヘシ又収当物ヲ解与スルハモ同様タルヘシ但之ハ収当物他ノ強徴執行ノ際ニ二重差押ヲ受サルハニ限ルヘシ

(第三) 揭示ノ作為及其張附差ニ誦告ニ係ル手数料

(第四) 競賣手数料

(第五) 租税義務者ニ負債上細命令昏ノ渡付及ニ談義務

0	0	0	0	0-32	以下	一ツタ レ 以
4	2	4	1	0-32	以下	一ツタ レ 以
0	0	0	0	0-32	以下	一ツタ レ 以
8	2	8	2	0-32	以下	一ツタ レ 以
0	0	0	0	0	以下	一ツタ レ 以
6	4	6	4	0	以下	一ツタ レ 以
0	0	0	0	0	以下	一ツタ レ 以
1	7	1	7	0	以上	一ツタ レ 以
0	6	0	6	0	以上	一ツタ レ 以

者ノ告知並ニ其他ノ各渡付ニ係ル手数料
 (第六) 収当割記競賣割記或ハ其他ノ割記ニ係ル寫唇ノ
 手数料
 (乙) 他ノ費用ノ事

(第七) 収当ノ際立會ニ証人ノ手数料
 (第八) 軍人ノ財産ヲ保管マシ人ノ手数料
 (第九) 有差穀物ノ監守人ノ手数料

○	○	○	○	○
一	一	二	○	二
○	○	○	六	○
二	二	二	○	四
○	○	○	九	○
○	○	○	○	三
三	三	四	○	○
○	○	五	六	○
○	○	○	○	○
五	五	五	○	辛
○	○	○	六	○

第八第九ノ兩場合ニ在テ若シ保管八日以上ノ久キニ涉ルハ第九日目ヨリハ
 手数料定額ノ二分ノ一ヲ払フヲ得メシ
 之ニ反シテ十箇以上散置マル物件ヲ監視スヘキハ手数料ノ二分ノ一丈ヲ
 増加スルヲ得ヘシ又二十箇以上散置スル物件ヲ監視スヘキハ二倍丈ヲ増加
 スルヲ得ヘシ

